

射水市立大門小学校

三輪の結

学校だより

第 12号
令和5年2月2日



冷たい風、大雪だって何のその



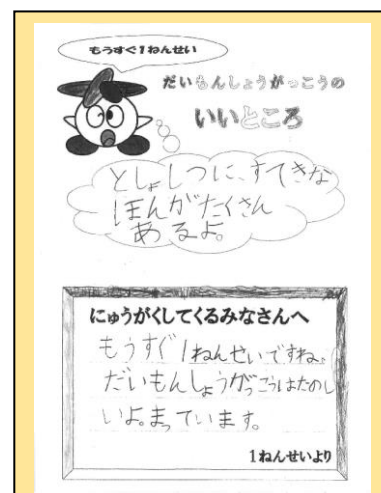
子供たちが元気にグラウンドに出てきて、遊んでいる姿を見るのが大好きです。

2枚の写真は、同じ先月の1月に撮ったものですが、どちらが楽しそうですか？答えは、晴れても、雪が降っても、笑顔いっぱい、子供たちは楽しそうです。子供にとって自由な時間や広い空間は、天気に関係なく貴重なのです。小学校だから見られる素敵な光景です。

さて、1月30日は、入学説明会でした。来年度は、96名の子供が入学予定です。コロナ感染やインフルエンザ流行の時期ということもあり、予防対策として園児同伴ではありませんでした。そこで、今度入ってくる新1年生さんに、本校の1年生がお手紙を書いて家の方にことづけることにしました。

このように、冬真っ只中でも、学校では、卒業式や入学式、来年度の準備等、春に向けた準備を進めています。

インフルエンザの流行が懸念されます。ご家族の皆様も、どうかお体を大事になさってください。



「卒業思い出『越中大門寄席』」が開催されます

すでに案内しておりますように、2月6日(月)10時半「卒業思い出『越中大門寄席』」(PTA 教養講座とコラボ企画)を開催します。ご来校の際には、下記の点にご配慮ください。

- ◎駐車場は、積雪のため「大門総合体育館駐車場」をご利用ください。
- ◎マスクの着用と内履きの用意をお願いします。
- ◎会場は体育館です。温かくしておきますが、体調に合わせて防寒対策をしてください。
- ◎10時20分までに、ご着席いただきますよう、よろしくお願いいたします

『越中大門寄席』の観覧席にもう少しゆとりがありますので、ご都合のよい方は学校の方へ遠慮無く申し込んでください。(0766-52-0072)

自然・人・文化に学ぶ「ふるさと学習」 — 「いのち」を見つめる、豊かな体験 —

本校は、「いのちの教育」を核とした教育活動を展開しています。この一年間を振り返ると、校区の豊かな自然環境を生かした「ふるさと学習」や、学校が大切にしている希少価値の高い生き物や植物を教材とした授業や教育活動を行ってきました。以下に、今年度のいくつかを取組をまとめましたので、紹介します。

鮭の生態を学び、卵の孵化に挑戦しよう（3学年 110名）

3年生は、11月14日、庄川養魚場を見学し、鮭の雄と雌を見分ける様子や人工授精の様子を見せてもらったり、エサやり体験をさせてもらったりしました。校区にある庄川は、住民の暮らしと関係が深く郷土への誇りと愛着を育む教材として適しています。また、庄川に遡上する鮭の観察を通して、命の大切さに触れる貴重な機会となっています。

12月5日には、養魚場から鮭の受精卵をもらい、学校で孵化に挑戦しました。子供たちは、自分のペットボトルに井戸水と1人3個ずつの卵を入れ、卵に黒い目があることや孵化した仔魚を見つけては、「かわいい!」「こんなに小さいけれど、元気に大きく育てほしい」と、初めて見る鮭の卵に感動していました。今後、4~5cmくらいまで育ててから、庄川に放流する予定です。



ふるさとの川 環境といのちを見つめる（4年生 117名）

本校には、大門の水や川の環境のよさを再現した、ビオトープがあります。そこには、希少動植物が生息できるように様々な工夫がなされています。

総合的な学習の時間に4年生は、環境についての学習の一貫として、アドバイザーから、トミヨ、ヨコエビ、メダカ等の生物や、バイカモ、カワゴケ等の生態や生育環境等を教えてもらいました。

また、それらが生息している川の歴史や大門地区の方々の川に対する思い等も聞かせてもらうことができました。今年度も、現地で捕獲体験等は行えませんでした。ビオトープを通して、地域や貴重な動植物に対して、今まで以上に関心をもつことができました。



魚の飼育活動（5・6年生 25名）《1~3学期 水曜6限 委員会活動》

本校では大型の観察用水槽で校区に生息している魚を飼育しています。大型の観察用水槽は全部で6つあり、それぞれ種類ごとに魚が分けられています。その中には水のきれいなところに棲み、絶滅の危険が及んでいるトミヨもいて、5・6年生の飼育委員会の子供たちが、餌やり、水槽清掃等を一生懸命行い大切に育てています。

また、生物への興味関心を高めようと、魚の紹介動画を作製したり、全校の子供たちに、餌やり体験や水槽清掃体験の参加者を募集して、生き物を身近に感じたり、触れ合ったりする機会を多くつくったりしました。体験を通して、生命の尊さを感じ、大切にしていこうという意識を高めることができました。



